

「すばらしい Holy Night」

1. 夜空にかがやく 天のつかいたちが
羊飼いたちに 知らせたよろこび
待ちのぞんでいた 祈りつづけてきた
救い主が 今日 お生まれになった

* 羊飼いたちの喜びは 歌とかわって
星空の下にひびくよ すばらしい Holy Night

2. 小さな馬小屋 飼い葉おけの中で
静かにねむっている 救い主イエスさま
天の神様が 愛するひとりごを
ひとの罪のために この世におくられた

(*くり返し)

「すばらしい Holy Night」

- 3. ありがとう神様 心からありがとう
- わたしたちのために イエス様をありがとう
- わたしたちの喜びは 歌とかわって
- 星空の下にひびくよ すばらしい Holy Night
- ラララララララ……………
- ラララララララ……………
- すばらしい Holy Night
-

20 平和はじめて知った

1. 平和はじめて知った

イエスに出会ってから
平和それはわきあがり
満たし生かす 私たちの心を

2. 愛はじめて知った

イエスに出会ってから
愛それはわきあがり
満たし生かす 私たちの心を

新聖歌67番 「わが心は」

- 1 わが心は 天(あま)つ神を尊(とうと)み
わがたましい 救い主を ほめまつりて喜ぶ
- 2 数に足らぬ わが身なれど 見捨てず
よろずよまで さきわいつつ 恵みたもう嬉しさ
- 3 御名は聖く 大御業(おおみわざ)は かしこし
代々(よよ)に絶えぬ みいつくしみ 仰ぐ者ぞ受くべき
- 4 ひくき者を 高めたもう み恵み
おごる者を 取りひしぎて 散らしたもう御力(みちから)
- 5 アブラハムの すえを永遠(とわ)に かえりみ
イスラエルを 忘れまさで 救いたもう とうとさ アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌46番 「わが主よ 今ここにて」

- 1 わが主よ 今ここにて 親しく見^(まみ)えまつり
限りなき幸いを 受くるこそ うれしけれ
- 2 恵みの足^(た)れる時よ いのちの充^(み)てるおりよ
今しばし 留^(とど)まれや 主と共に われ過ごさん
- 3 ここには贖^(あがな)いあり ここには慰めあり
わが汚れ きよめられ み力は満ちあふる
- 4 面影^(おもかげ)うつししのぶ 今日だに かくもあるを
みくににて祝う日の その幸^(さち)や いかにあらん

アーメン

新聖歌275番 「信仰こそ」

- 1 信仰こそ 旅路(たびじ)を導く杖(つえ)
弱きを強むる力なれや 心勇ましく旅を続けゆかん
この世のあやうき 恐るべしや
- 2 わが主をかしらと 仰ぎ見れば 力の泉は
わきて尽きず 恵み深き主の み傷 見まつれば
わずかに残る火 ふたたび燃(も)ゆ
- 3 主イエスの御跡(みあと)を たどり行けば
険しき山路(やまじ)も やすけき道
いかで迷うべき などて疲(つか)るべき
真直(ますぐ)に御神へ 近づき行かん

【次ページ】

新聖歌275番 「信仰こそ」

- 4 信仰をぞ わが身の杖(つえ)と頼(たの)まん
するどき剣(つるぎ)も 比(くら)ぶべしや
代々(よよ)の聖徒(せいと)らを 強く生かしたる
御霊(みたま)をわれにも 与えたまえ

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン